

# みちしるべ

第149号

人権・同和問題啓発広報

人権同和政策課

☎ 22-7506

同和教育・啓発推進会議

## 令和元年度出雲市人権 作文・ポスターコンクール

市教育委員会では、人権作文・ポスターコンクールを毎年実施しています。これは、次代を担う小中学生が学校生活や日常の家庭生活等の中で得た体験に基づいて、人権に関する自分の考えや思いを作文やポスターに表現することにより、人権尊重の重要性、必要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけることを目的としています。

今年度も、人権作文の部では157点、人権ポスターの部では203点の作品が寄せられ、昨年11月19日に市役所で表彰式を行いました。特選・入選作品は、人権作文・ポスター集「ひまわり」や人権カレンダー等で紹介し、学校や家庭等での啓発活動に役立てます。今号では、特選・入選に選ばれた皆さんと作品の一部を紹介します。

(敬称略)



### 【小学校低学年の部】

- ★特選・荘原小学校 2年 原 颯吾 「ようこそ日本へ」
- ★入選・高浜小学校 2年 小池 蘭 「きゆうしよくとうばん」
- ★入選・北陽小学校 1年 園山 結那 「わたしにもできることがあるよ」
- ★入選・多伎小学校 2年 秦 秀斗 「ぼくのたいせつな名前」

### 【小学校中学年の部】

- ★特選・塩冶小学校 4年 今井 陽路 「みんなの心が温かくなるために」
- ★入選・四絡小学校 3年 米山 松那果 「あいさポスターバッジをもらって」
- ★入選・窪田小学校 3年 妹尾 和香 「ゆう気をくれてありがとう」
- ★入選・大社小学校 3年 小村 拓叶 「はじめての大きな勇氣」

### 【小学校高学年の部】

- ★特選・平田小学校 6年 金森 悠人 「ネパールの人が教えてくれたこと」
- ★入選・塩冶小学校 6年 フジムラ アユミ 「もともともだちとなかよくするために」
- ★入選・四絡小学校 6年 原 知輝 「僕の役割」
- ★入選・四絡小学校 6年 土江 彩乃 「いつも笑顔で」

### 【中学校の部】

- ★特選・南中学校 1年 吉田 哲子 「人を支えるひとになりたい」
- ★入選・第一中学校 2年 山根 采華 「私の声」
- ★入選・平田中学校 2年 川瀬 晴愛 「人と違うこと」
- ★入選・湖陵中学校 2年 重田 瑞希 「思ったことを口にできる力」

### 人権ポスター入賞者(特選・入選)

#### 【小学校中学年の部】

- ★特選・北浜小学校 3年 渡部 葉奈 「あい手の気もち」
- ★入選・檜山小学校 3年 長岡 友都 「むししないにいてる友だちたすけよう」
- ★入選・檜山小学校 4年 吾郷 由奈 「ほほえんで言えたらきつとえがおくる」

#### 【小学校5年生の部】

- ★特選・檜山小学校 5年 桑谷 花音 「がんばってその一言で勇氣出る」
- ★入選・灘分小学校 5年 榎野 勇太 「試合がおわったらみんな仲よし」
- ★入選・鰐淵小学校 5年 原 千尋 「やさしい言葉で笑顔になれる」

#### 【小学校6年生の部】

- ★特選・高浜小学校 6年 宮本 実咲生 「友だちってみんないいな」
- ★入選・檜山小学校 6年 金森 愛衣 「気づいてる、あなたのそばには仲間がいる。」
- ★入選・荒木小学校 6年 松島 桃子 「明日への希望」

### 【中学生の部】

- ★特選・向陽中学校 2年 原田 桃葉 「心の傷が見えていますか」
- ★入選・第一中学校 1年 鶴木 伶奈 「『タレカ』じゃなく君が動かなきや」
- ★入選・大社中学校 1年 村上 夏美 「人それぞれの色、形、個性を大切に」

# みんなの心が 温かくなるために

塩冶小学校 4年

今井 陽路

ぼくは、クラスでハッピーバースデー係をしています。たん生日の友達にしつ問をしたり、みんなに『に顔絵』をかいてわたしたり牛にゆうで『かんぱい』したりしています。たん生日の友達が、いつも喜んでくれているのがうれしいし、『かんぱい』の時に、男子とか女子とか関係なく牛にゆうを合わせてくれる友達がいてうれしいです。ぼくは、いい友達がいて幸せだと思っているし、そんな友達のために色々な事をしたと思っています。

でも、幼稚園のころのぼくは、自由時間になると一人ぼっちになって、園庭をふらふら歩き回り、先生に声をかけられると泣き出してしまふような子でした。

一年生になっても、友達がいなくて、休み時間は教室で、ただすわっていました。何もする

ことがなく、ぼうっとしてしました。友達にどう声をかけていいのか分からなかったのです。ぼくには友達ができるのかなと不安に思いました。そんな時、一人の友達が、「ねえ、いっしょにおにごっこしようよ。」と、声をかけてくれました。その友達は今まで話したことのない友達だったから、びっくりしました。でも、その友達といっしょに遊べて、ぼくはともうれしかったです。何か自分のい場所が見つかったような気がして安心したことを覚えています。ぼくは、それがきっかけで、よく遊ぶ仲のよい友達ができ、クラスの友達がふえていきました。ぼくは、それからは、困っている友達に声をかけるようにしています。

ある日、ぼくが通っている英語教室に新しい友達が入ってきました。でも何となく元気がなさそうでした。ぼくは、話したことはないけれど、気になって声をかけてみました。おなががいたいことを、初めての場所だったから言えなかったことがわかり、ぼくが先生に知らせさせてあげました。

ぼくが、その友達に声をかけられたのは、小学校に入学した

時の一人である時のさみしい気持ちと、声をかけられた時のうれしい気持ちの両方を知っていたからです。英語教室の友達も、不安な気持ちがぼくの声かけでうれしい気持ちに変わってくれたんじゃないかと、勝手に思っています。できれば、声をかけられてうれしかった気持ちを覚えていて、次の友達にやさしく声をかけてくれるといいなと思っています。そんな風にながっていけば、友達にやさしくする気持ちがどんどん広がっていくんじゃないかと思っています。さみしい気持ちの友達がへってみんなの心が温かくなっていくと思います。

ハッピーバースデー係の仕事もその一つかなと思います。みんなにうれしい気持ちをもちてもらえれば、それは広がっていくと思うからです。みんなの心が温かくなっていくためのきっかけとなることを、ぼくはこれからもしていきたいと思っています。

## 「人権ポスターの部 特選作品」



北浜小学校 3年 渡部 葉奈



檜山小学校 5年 桑谷 花音



高浜小学校 6年 宮本 実咲生



向陽中学校 2年 原田 桃葉

「おたすね」 学校教育課 人権同和政策課 ☎(21)6224 ☎(22)7506